



議会だより

# おやま町議会

No.142

発行：静岡県駿東郡小山町議会



平成27年度 始まる

**新しい生活を迎えた皆さんを応援します!!**

～平成27年4月7日 須走幼稚園 入園式～

3月定例会

- 27年度予算のポイント…………… 2
- 各常任委員会で議論…………… 6
  - ・9人が一般質問 町政のここが知りたい…………… 7
  - ・私の望み(明倫小学校)…………… 16

# 基本施策を推進

## 内陸のフロンティア・定住促進を中心に～

平成27年第1回3月定例会が、2月24日から3月18日までの23日間の会期で開催されました。

今定例会には、町から平成27年度当初予算や条例など36議案、議会から6議案等の合計42議案等が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

### 4つの分野に重点配分 町長施政方針

- ① 小山PA周辺・湯船原地区・足柄SA周辺の3地区開発に向けた施策を推進
- ② 災害に強いまちづくりの施策を推進
- ③ 定住人口拡大に向けた施策を推進
- ④ 高齢者の健康づくりに対する施策を推進

「金太郎のような元気なまち」を目指します!

#### ここがポイント

##### 備蓄用食料等 750万円ほか

備蓄用食料・防災備蓄用粉ミルク・避難所用間仕切りなどを購入。そのほか、炊き出し器セット10式・ガス発電機等を緊急地震対策基金を財源として購入。

##### 定住促進助成 600万円ほか

賃貸住宅・居住用の土地や建物の売買に対して助成。そのほか、宅地の開発に対する補助や新築住宅等を取引した際の住宅ローンに対する利子を補給。



▲分譲が始まるクルドサック16(南藤曲)

##### 三来拠点 6,000万円ほか

湯船原地区では、再生可能エネルギー調査。小山PA周辺では放流測量設計。足柄SA周辺では、スマートインターチェンジの測量設計等を実施。



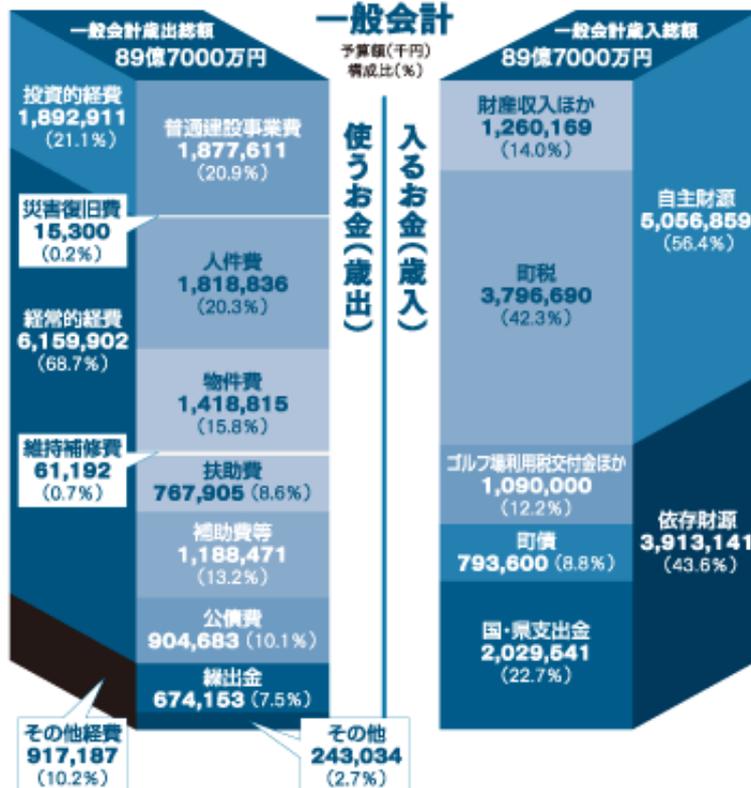
▲第一園芸跡地(上野)では造成が進む

##### 国保 保健事業 3,359万円ほか

重点施策として特定健康診査の受診率及び保健指導実施率の向上を目指し事業を実施。一般会計でも各種がん健診の推進や健康マイレージ事業を通じて健康づくりを推進。

# 平成27年度予算

## ～総額141億円余 一般会計町税は減少



**自主財源は3億5千万円余減少**

平成27年度の一般会計総額は89億7千万円となり、歳入である町税など8項目の自主財源は、対前年度比6・6%、3億5千603万4千円減少の50億5千685万9千円で全体の56・4%となった。それ以外の部分は国庫支出金・県支出金など14項目の依存財源である。皆さんから頂く町民税（個人）は、働いている人の減少等を見込み約2・7%減少、町民税（法人）も税制改正や法人数の減少を見込み1・2・5%減となっている。

### 一般会計歳出 目的別予算

目的	予算額(千円)	構成比(%)	前年比(%)	説明
議会費	104,635	1.2	10.2	議会運営のために使うお金
総務費	1,476,884	16.4	3.9	役場を運営するために使うお金
民生費	2,342,664	26.1	27.0	高齢者・障がい者など福祉全般に使うお金
衛生費	761,571	8.5	△9.2	安全で衛生的な生活のために使うお金
農林水産業費	292,243	3.2	△5.7	農地・営農・林業などに使うお金
商工費	189,114	2.1	△15.3	商工振興・観光PRに使うお金
土木費	1,629,489	18.2	8.7	道路・公園・河川などに使うお金
消防費	428,141	4.8	△1.9	広域行政消防署負担金や防災に使うお金
教育費	805,276	9.0	△32.9	子育て・学校など教育全般に使うお金
災害復旧費	15,300	0.2	△14.0	災害復旧に使うお金
公債費	904,683	10.1	△1.6	町の借金を返済するお金
予備費	20,000	0.2	33.3	不測の事態に備えるお金
合計	8,970,000	100.0	1.7	

# ～平成27年度当初予算を徹底チェック～ 本会議 質疑 ピックアップ

## 一般会計

### 保健事業

Q がん検診は、健康維持や医療費削減のため重要である。受診率向上策は、  
A 平成27年6月を受診強化月間として集中的なキャンペーンを実施し、特に子宮がん検診は、女性が受診しやすいよう誕生日検診を計画します。

### コミュニティ交通

Q 利用者が少ないとの声を聞く。今後の方向性は、  
A 金太郎公共交通計画に基づき実施し、事業の評価検証後、地域公共交通会議で協議します。小山地区の調査運行は、平成27年9月まで実施後、有料化に向けた検討を進めます。

### マイナンバー制度

Q マイナンバー制度の実施計画は、  
A 平成27年10月から全国民に個人番号が通知され、平成28年1月からカードが交付されます。町では、制度開始に合わせ基

幹システム等の改修を始めます。

### 企業誘致

Q 地域産業立地事業補助金の内容は、  
A 産業の高度化や雇用創出等を図るための条件に合致し町内に進出した企業等へ用地取得費などを補助します。

### 都市計画道路

Q 都市計画道路用沢・大胡田線の計画と都市計画税導入は、  
A 27年度は物件補償等が主なもの。全長480m、幅員16m、全体事業費を8億8千万円余見込んでいます。27～28年度に用地買収・物件補償を、28年度から工事着手、30年度に

## 特別会計

### 国保会計

Q 極めて大きな負担増を支払いきない方が増大するのは、  
A 22年度以降4年連続で赤字となっている。議会等にも説明し基金を取崩し運営してきた。今回、国保運営協議会の答申もあり、持続可能な制度として改正をする。引き続き納付相談などで対応します。

完成の計画。都市計画税は、都市計画道路等の見直しを終了するので、今後、議会や町民の皆さんの意見を伺いながら議論を進めます。

あなたにも、マイナンバー。はじまります。

平成27年10月からマイナンバー一人ひとりにお届けします！

マイナンバーとは、個人番号のこと。マイナンバーカードは、マイナンバーを証明するカードです。マイナンバーカードは、マイナンバーを証明するだけでなく、各種サービスを受ける際に便利です。

マイナンバーカードの申請方法や詳細については、お住まいの市区町村の窓口またはマイナンバーポータルサイトをご覧ください。

0570-20-0178

内閣府

平成27年10月から通知を開始

## 一般会計予算に対する討論

### 反対

国内経済は回復基調にはあるが実感を持っていない状況である。27年度予算は、町税が減収と苦しい予算立てである。その中、大型開発に軸足を置いた予算であり、町民の日常生活の改善点が置き去りにされている。定住人口拡大策も他地域からの移住などと総合的に取り組むべきである。地域コミュニティ交通も使い勝手が悪く方向性が見えない。町民の願う元気なまちおやまは日常生活の中で人が行き来し合う活気ある町である。  
(高畑博行)

### 賛成

日本経済は個人消費の回復が遅れているが、今後、穏やかな回復基調になるとみられ、国の経済対策により雇用等の回復も見込まれる。しかし、町を取り巻く環境は町税や人口等の課題は多い。その中、限られた財源を有効に活用し、金太郎のような元気なまちにするため、積極的な予算を組むという強い決意を持ち、総合計画に謳われた各種施策を盛り込んだ予算である。町民がこれから元気な夢のある町を創るための予算である。  
(新生会 池谷 弘)

一般・国保・介護会計は賛成多数で可決。その他予算は全員賛成で可決しました。

# 国保税・介護保険料 値上げ ～国保税は平均21%増～

## 国保税 モデルケース試算 (住民福祉課資料より)

	所得	資産税	介護分課税	軽減
夫(67歳)	800,000	50,000	なし	5割
妻(63歳)	0	0	あり	

このような夫婦2人世帯の場合

平成26年度	105,500円
→	
平成27年度	124,100円

町の国民健康保険特別会計単年度収支は、平成22年度から赤字に転じ、4年連続で赤字となり、赤字額は増えています。議会でも基金の取崩しが続いていた状況への質疑や法定外繰入の可能性等について議論が交わされてきました。

今回、町の国民健康保険運営協議会の答申もあり、平成29年度までの収支見込額を基に国保税を平均21%値上げする条例改正が賛成多数で可決されました。

同様に平成29年度までの収支見込額に基づき介護保険料も3%値上げする条例が賛成多数で可決されました。

※法定外繰入

一般会計から財源の不足分を補うこと、国保の被保険者以外の税を充てることについて議論となる。

### 特命副町長に

#### 室伏前企画総務部長

柳井特命担当副町長が3月31日をもって退任し、4月1日より室伏前企画総務部長を特命担当副町長とする人事案に賛成多数で同意。任期は平成31年3月まで。

ほか、新教育長制度に伴い天野教育長を教育委員会の代表者である教育長へ、固定資産評価審査委員を藤曲の藤曲弘幸さんとする人事案に同意。

## 平成26年度 補正予算関連 地方創生 プレミアム商品券に1千360万円

いずれの補正予算も全員賛成で可決。

### 一般会計

#### 歳出の主なもの

地方創生関連  
2月に成立した国の補正予算に伴い、「まち・ひと・しごと創生」に向けた総合戦略の先行実施のため平成27年度にわたる次の事業を進める。

- ① プレミアム商品券等 1千460万5千円増
- ② 地方版総合戦略策定 1千万円増
- ③ 福祉理美容活用 486万円増
- ④ 定住・移住促進 627万6千円増

#### 歳入の主なもの

- 町民税(個人) 2千200万円減額
- 町民税(法人) 4千886万円減額



7月1日から発売開始が予定されているプレミアム商品券(写真は昨年のも)

固定資産税 4千万円増額

## 道の駅 電気自動車用充電器 有料化 ～30分で500円を徴収～



道の駅「ふじおやま」「すばしり」に設置されている電気自動車用急速充電器が有料化されます。これまでは、普及の為に、無料で使用できましたが受益者負担の原則に基づき、4月1日からは、30分500円の使用料がかかります。

## 3つの特別委員会 最終報告

災害復旧対策特別委員会  
平成22年激甚災害の復旧は終了したが、山地崩壊などに対する治山事業に今後も尽力を願う。

内フ口推進特別委員会  
今後ますます事業進捗するが、議会や町民への情報公開、柔軟な発想で町の礎を築いてほしい。

議会改革特別委員会  
一問一答や全協・委員会の傍聴規程など一定の成果を得た。基本条例は今後も議論願いたい。

- 5月臨時会 6月定例会  
お知らせ
- ◆5月15日(金) 改選に伴う臨時会
  - ◆6月4日(木) 町長から提案説明
  - ◆6月9日(火) 一般質問
  - ◆6月11日(木)、12日(金) 常任委員会
  - ◆6月19日(金) 委員長報告・採決等
- ※変更になる場合があります

3月10日に開催し、当初予算等14議案の審査を行い、いずれも全員賛成で原案のとおり可決した。主な内容は次のとおり。

**27年度一般会計予算**

○ 町民税と固定資産税の滞納額とその収納率をどの程度見込んでいるか。

A 町民税は、滞納繰越分・現年滞納分を含め約2千940万円の滞納額で、その収納率は約27%。固定資産税は、計約6千万円の滞納額で、その収納率は約29%を見込んでいます。

○ 新東名高速道路及び関連道路は、計画どおり進捗しているか。

A 関連道路は、概ね計画どおり進捗しています。中日本高速道路に確認したところ、新東名高速道路小山町域は、用地買収等が進められており、2月現在、面積比で約49%の進捗率であり、供用は当初予定どおり平成32年度です。

○ 三来拠点整備事業の湯船原工業団地排水路はどのような計画か。

A 主要な排水路である石沢排水路の整備をします。対象区域は、国道246号線からその下流部分の須

～新東名高速道路の進捗は～

総務建設委員会の報告  
委員長 阿部 司

川まで延長約80mです。  
○ ふじのくに地域・大学コンソーシアム負担金の具体的内容は。  
A 県内の大学が加盟するコンソーシアムに負担金を払うことで、町事業

に対して研究をして頂けるようになり、そのノウハウを生かしながら町政の参考とします。

**27年度下水道会計予算**

○ 下水道使用料の滞納者の階層とその対策は。

A 主に生活困窮者や転出により未納付となった方、納付指導するも納付されない方です。督促状や催告書の送付により自納付を促すとともに財産調査や差し押さえを検討し、収納率向上に努めます。

3月11日開催され、付託案件は全員賛成又は賛成多数で可決された。主な内容は次のとおり。

**国民健康保険条例の一部を改正する条例**

○ 法定外繰入を増額すべきでは？

A 30年度に県へ移管されることも検討した上で国保運営協議会の答申に基づき実施し、精一杯の繰入と認識しています。

**介護保険条例の一部を改正する条例**

○ 今回の改正は現状の福祉を継続させるため必要最小限の範囲と理解して良いか？

A 27～29年度の3年間の経費推計に基づき算出し、負担と給付の原則から止むを得ないものと考えています。

**27年度一般会計予算**

○ 夢チャレンジ支援事業補助金の内容は？  
A 実用英語技能検定5

級以上を受ける中学生の団体検定料に対し町から補助するものです。

**消防水利整備計画は？**

A 耐震性貯水槽の充足率100%を目指し、年1基ずつ整備していく計画です。

～国保・介護のこれからを議論～

文教厚生委員会の報告  
委員長 渡辺 悦郎

**27年度国保会計予算**

○ 県移管の30年度まで持続が可能か？

A 27年度から3年間の収支見込により税率の改正を算出しましたが、29年度は医療・介護の分野



森林整備計画について視察

で様々な改正が行われる過渡期でもあり、柔軟な対応を考えられています。

**27年度介護会計予算**

○ 制度改正による要支援1・2の受け入れは？

A 制度改正後、町へのサービス移行について2年間の猶予を頂いています。今後2年間は現状のまま対応し、その間に向付けをしたいと考えています。なお、同じ圏域の御殿場市と同じ歩調で進めていきます。

# 一般質問に9人が登壇 ~町政のここが知りたい~



米山 千晴  
(新生会)



▲台風災害からの復旧記念碑(駿河小山幼稚園横)

平成27年度当初予算編成にあたり、「金太郎のよくな元気なまちおやま」を指すとの施政方針であった。しかし、地方分権が叫ばれる一方で、実感としては、地方の元気がなくなり、少子高齢化や産業衰退、東京への一極集中などが進んでいる。そうした中で「金太郎のよくな元

**A** 町長 「金太郎のよ

うに力強い経済・雇用と賑わい創出への挑戦」。企業・宿泊施設の誘致を進め、魅力的な滞在型観光を振興していきます。

3番目に「金太郎のよくな元気を支える福祉・福祉充実への挑戦」。買物環境の充実を図るため商業施設等の誘致、公共交通の活性化、若者・女性・高齢者等が生きがいを持つ活躍できる場等を充実させます。

**A** 新たな3つの挑戦を掲げ、小山町を元気にします

**Q** 2期目町政への舵取りは

町長は、平成23年町長選挙において「金太郎大作戦」をマニフェストに掲げ当選された。その中には10の戦略、87事業があった。就任後、それらについて精力的に取り組まれ、平成25年の中間検証大会では、極めて高い評価を得ていた。ほか「内陸のフロンティアを拓く取組」

**A** 町長 最優先に

次に町の発展のため、静岡県内陸フロンティア推進区域、小山PA周辺地区他4地区の開発を進めて

います。その他、農業生産力強化を図る基盤整備事業や富士山の環境保全に配慮し、須走口五合目電化事業、観光振興計画の策定、定住人口拡大施策などに取り組んできました。

**A** 台風災害復旧を完了、政策提言事業も推進しました

**Q** 町長 マニフェストの執行状況は

にも積極的に取り組まれ、まさに、込山町長だからこそその行動力であると思う。

4年間を総括し、成果や町にもたらした影響について伺う。



▲9月まで調査運行が行われる(役場本庁)



高畑 博行

**Q** コミュニティバスと調査運行バスの中間検証は

**A** 利用状況を検証しながら活性化に取り組みます

**Q** コミュニティバスと調査運行バスの中間検証について、どう分析評価しているのかを伺う。

**A** コミュニティバスと調査運行バスの中間検証について、あしがらルート1千614人、くわぎルート82人で、どう分析評価しているのかを伺う。

**Q** コミバス3ルートごとの10月以降の利用者データは、

**A** コミバス運行上の必要経費と収入、実質欠損額、補助額ほどの程度か。

**A** 町長戦略課長

10月～12月末の間です。ばしりルート1千768人、

**A** 町長戦略課長

3か月間の経費は3ルート合わせて853万2千400円、収入は57万

**Q** 「調査運行バスは

以前の巡回バスのほうが使いやすかった」という声が多いが、調査終了

8千750円、欠損額は795万3千690円でした。年間経費は3千444万2千686円の想定です。国補助金895万9千円の内定を受け、県補助金80万円程度を想定しています。

**A** 町長戦略課長

後の10月以降、廃止はあり得るのか？

アンケートでは、「非常に満足」「満足」を合せ約79%の方から満足との評価です。10月以降は、調査運行結果を基に、町地域公共交通会議で協議し、持続可能な運行とし有料化のうえ継続を考えています。

**Q** 小規模基本法と基本計画を受けて町の具体的施策は

**A** 商工会と連携しながら検討していきます

**Q** 昨年6月に小規模企業振興基本法が国会で成立し、10月に基本計画が閣議決定した。これを受けて町の具体的振興施策は？

**A** 商工観光課長

昨年6月に小規模企業振興基本法が国会で成立し、10月に基本計画が閣議決定した。これを受けて町の具体的振興施策は？

の責務」が定められているが、これを受けて施策の策定は進んでいるのか。

**Q** 小規模企業に対する支援や商工会と連携した取り組みについてどう考えているか。

**A** 商工会にも確認いたしましたが、現状は把握できませんでした。平成24年「経済センサス」の調査結果では、事業所数が776事業所ですが、従業員数別の事業所数は公表されていません。

**A** 商工観光課長

**Q** 本法律に示される従業員5人以下の事業所は町内で何社あり従業員数は何人か。また町内全企業の何%にあたるのか。

**A** 本法律第7条には「地方公共団体

具体的な施策の策定は進んでいませんが、今後、国や県の動向を踏まえ商工会と連携を図り、町の実情やニーズに合った施策について検討します。

**A** 町と商工会で月1回定例会を開き情報交換を行うっており、商工会を中心とした支援体制が十分に機能するよう協議していきます。

は「地方公共団体

町と商工会で月1回定例会を開き情報交換を行うっており、商工会を中心とした支援体制が十分に機能するよう協議していきます。



池谷 弘  
(新生会)



▲側溝に蓋をすることで安全な通学路に(一色地区)

**Q** まち・ひと・しごと創生への町の総合戦略は

**A** 小山町総合戦略を平成27年度中に策定します

**Q** 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策パッケージは、①地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする。②地方へ新しいひとの流れをつくる。③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとも

に、地域と地域を連携する。各項目の「重要業績評価指標(KPI)」を達成していくために町の総合戦略を定めPDCAを回し、町の創生に取り組む必要がある。重要案件である少子化対応も含め、当局の今後の対応について何う。

**A** 町長

担当の町長戦略課長

をリーダーに、関係部署職員で構成するプロジェクトチームを中心として、シンクタンク等による支援を受けながら「地方人ロビション」及び「地方版総合戦略」を平成27年度中に策定していきます。また、町民をはじめ、関係機関等で構成する推進組織等にも意見を求め、議会へも説明していきます。なお、本町において少子化対応は重要な施策と考えており、分析等を行い町の実情にあった施策を考え、総合戦略に盛り込むことで人口減少に歯止めをかけていきたいと考えています。

**Q** 子ども達の交通事故防止に今できる通学路整備は

**A** 通学路安全確保の対応を講じていきます

**Q** 町の通学路は、歩道が整備されずに道路に区画された細い白線を歩いて登校しなければならぬ箇所も多い。昨今、登校中の事故の報道もあり、町の子どもの安全を確保していくため、見通しの悪い通学路や細い通学路の改善が是非必要である。歩

道の設置は多くの経費や時間がかかり、長期間放置される可能性もあるの

**A** 建設課長

通学路の安全対策は、

また、見通しの悪い通学路については、カーブミラー等の安全施設を設置し、幅の狭い通学路については、必要に応じて側溝に蓋をかけ、少しでも路肩の幅を広くするなども、通学路の安全確保の対応を講じていく考えです。

道の設置は多くの経費や時間がかかり、長期間放置される可能性もあるの

で、経費が少なく短期にできる側溝に蓋を設置すること等で歩く場所を確保することも必要である。側溝への蓋かけを計画的に実施していくことを含め対応を何う。

通学路の安全対策は、御殿場警察、町教育委員会、町道・県道の管理者による組織を設置し、合同点検や安全対策の実施等を行っています。その結果を踏まえ、継続的に通学路の交通安全確保を図っていきます。



▲富士山の玄関口として期待「道の駅すばしり」



阿部 司  
(新生会)

**Q** 一人暮らしの高齢者対策は

**A** 生きがいを持ち安心して暮らせるまちを目指します

高齢社会白書によると、一人暮らしの高齢者男女の数は、増加の一途を辿っている。「孤独死」が発生した場合、経済的かつ人的な負担や社会的コストがかかるほか、のちのち様々な影響を各方面に与える。

**Q** 町の60歳以上の一人暮らしの人数は。

**A** 町民福祉課長

老人クラブ連合会やシニア人材センター等の活動支援のほか、団体活

**Q** 町内に「孤独死」事故はあったのか。

**A** 町長

相談体制を強化し、高齢者の不安解消に努めます。

**Q** 民間事業者と連携による対応は。

**A** 町長

年間複数件確認しています。安否確認等、高齢者見守りネットワークを強化していきます。

**Q** 一人暮らし高齢者への対応や施策は。

**A** 町民福祉課長

平成27年1月末現在、2千28人です。

**Q** 町内に「孤独死」事故はあったのか。

**A** 町民福祉課長

町内にはありません。

**Q** 町内に「孤独死」事故はあったのか。

**A** 町民福祉課長

町内にはありません。

**Q** 町内に「孤独死」事故はあったのか。

**A** 町民福祉課長

町内にはありません。

**Q** 道の駅の更なる環境整備を

**A** 関係機関と協力して整備に努めます

一昨年の6月に富士山が世界文化遺産に登録されて以来、富士山周辺の地域では国内外からの観光客が増加している。町でも2カ所ある道の駅を観光拠点として活用しようという計画しているが、多くの人に立ち寄ってもらうためには、更に道の駅の環境整備等に力を入れる必要があると感じる。

**Q** 道の駅の今後の整備計画は。

**A** 町民福祉課長

町民や来訪者に安心で快適に利用していただくための道の駅として、町が重要な責務です。それぞれの指定管理者や国、県などと協議し、案内看板の設置など施設整備に努めていきます。

**Q** 草刈等整備の必要経費を増やすことは。

**A** 町民福祉課長

現状では、新たに維持管理経費を計上することは考えていませんが、国土交通省に適切な維持管理をお願いするとともに、指定管理者に対しても更に適正な維持管理に

**Q** 草刈等整備の必要経費を増やすことは。

**A** 町民福祉課長

現状では、新たに維持管理経費を計上することは考えていませんが、国土交通省に適切な維持管理をお願いするとともに、指定管理者に対しても更に適正な維持管理に



池谷 洋子



▲様々な取り組みで振り込め詐欺への注意喚起

**Q** 町の認知症対策は

**A** 「二元気塾」で認知機能低下予防を推進します

高齢化の加速に伴い認知症の方が急増し、2025年には国内で約700万人が認知症になるとみている。特に高齢者の5人に1人が認知症となる。認知症の方にとって住み慣れた地域での生活は重要であり、地域全体で支える包括ケアの仕組みが必要である。国は認知症対策の国家プラン「新オレンジプラン」を打

ち出し早期診断や相談が受けられる初期集中支援チームを2017年度末までに全市町村に整備することとした。

2以上の方は、要介護認定者840人のうち520人です。

**Q** 「新オレンジプラン」への町の考えは。

**A** 町長

平成19年度から認知症サポーター養成講座を1千468人が受講しています。また、認知機能低

下予防事業として「二元気塾」を実施し、好評です。認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の設置については、医師会等関係機関の協力が不可欠ですので、平成29年度には実施できるよう平成27年度から検討や協議をしていきます。

**Q** 振り込め詐欺対策にポップアップステッカーを

**A** 関係機関と協働し、効果の高い啓発品を活用します

高齢者から巨額の現金をだまし取る「振り込め詐欺」が全国で後を絶たない。2014年に高齢者を狙った詐欺の被害は約318億円と言われている。このような「振り込め詐欺」を防ぐには個人の心構えが必要である。そして、高齢者に対して注意喚起を促すことも重要だと考える。

**Q** 町の「振り込め詐欺」の状況は。

**A** 地域防災課長

平成26年1月から12月までの1年間で、振り込め詐欺等の被害届受理件数は、御殿場警察署管内で10件でしたが、当町の方はありませんでした。

**Q** 高齢者に「振り込め詐欺」のアンケートを実施し、しっかりとした分析をもって絶対に被害を出さないとの意欲で対策を考えるべきと思うが。

**A** 地域防災課長

振り込め詐欺等の被害は、全国的にみると件数・金額ともに増加傾向が

いており、オレオレ詐欺と還付金等詐欺の被害者層の90%以上が60歳以上の方です。

このことから、今後引き続き、行政・防犯協会等が一体となり、様々な機会を捉え、効果の高い啓発品の活用などの方法により、被害発生防止に努めていきます。



▲町内で生産されたものなどが並ぶ(道の駅ふじおやま)



込山 恒広

**Q** 六次産業化への指導を

**A** 「小山町農商工連携協議会」での活動を推進します

今後農業への進出企業との連携などは避けて通れなくなると考える。しかし、農家は専ら農作物を作って農協や出荷組合などに出荷するだけの旧態依然で、どこの農家も明確なコンセプトや戦略ストーリーがないのが実状である。六次産業として成長するために必要な販売戦略やマーケティング、販路拡大、中長期計画作成といった事業プラン作成の知識もなく、これらを作成できる人材も不足している。このままでは、半数以上の農家が淘汰されるのは必至である。

今後の担い手育成には、農業セ恩斯だけではなく、商工業者と同様のセ恩斯が求められ、ネット販売の活用も必要になると考える。これら戦略的経営感覚のノウハウを身に付け、農家が六次産業化で

生き残るための方向性と指導支援について伺う。

**Q** 特産物である水かけ菜の販路について戦略は。

**A** 町長

水かけ菜の漬物を今後、も町の特産物として継承していくためには、六次産業化を推進し、加工販売していくことが重要になってきます。町としても農村活性化センターを活用して水かけ菜を加工し、道の駅で販売する流れを構築することができれば、販路確保に繋がると考えています。このため、まずは生産量確保のため、生産農家の方々や関係機関と協議の場を設け検討していきます。

**Q** 町の農家が六次産業ビジネスで成

長するための支援策は。

**A** 商工観光課長

町では、商工会や農産物出荷組合、農協や婦人会、道の駅の指定管理者などの方々をメンバーとした「小山町農商工連携協議会」を組織し、生産・加工から流通、消費に関わる団体等の連携を図り、情報発信や新規ニーズの掘り起し、地域産業の振興を図る取り組みをしています。今後も、生産だけでなく、加工から販売まで取り組めるよう当協議会での活動を推進していきます。

裁培や保存等による長期出荷への対応を推進するとともに、食の安全・安心確保対策を進め、信頼できる直売所の構築を進めます。また、学校給食や外食企業などへの食材供給など、需要に対応できる地域農産物の流通拠点としての機能や、生産者と消費者との交流を通じた情報を発信するとともに、地域活性化の拠点として積極的に活用します。

**Q** 道の駅「ふじおやま」農産物出荷組合の事業戦略は。

**A** 農林課長

更なる取扱品目や出荷量の拡大を進め、すらし



▲地域活性化の拠点として期待



湯山 鉄夫



▲日頃からの訓練が重要(小山1区)

**Q** 町民生活の安心安全を守る将来的創生は

**A** 行政と地域住民が一体となってまちづくりに取り組みます

少年高齢化・人口減少が次第に拡大していく状況下、重要課題として、次世代を想定し町民が安心して健やかに暮らすため安全性をより高めた社会環境を確立し継承していかねばならない。

動教室、特定健診・がん検診の受診率アップキャンペーン、出張けんこう教室の4事業を重点事業として推進していきます。

ます。団塊世代等の加入者増についても、県が保険者となることで対応できると考えています。

富士山噴火に対する対応は、「富士山は活火山であり、いつ噴火活動が起こっても不思議ではないこと」を認識し、町の「富士山噴火に対する避難計画」を参考に命を守る避難行動を実施します。

特に意識的課題として、ソフト面での福祉社会の充実を図る安心性、防災減災対策の強化を図る安全性、この両者のレベルアップが必要である。平時においても有事を想定した準備を整え継続した訓練が不可欠である。

町内各介護施設職員数等の人的状況は、

減災防災に対する意識高揚策は、

「富士山は活火山であり、いつ噴火活動が起こっても不思議ではないこと」を認識し、町の「富士山噴火に対する避難計画」を参考に命を守る避難行動を実施します。

町内の主な施設の職員数は法令を順守し充足しています。施設への聞き取りによると、今後専門職を増やし手厚い介護を実施したいとのことでした。

町内の主な施設の職員数は法令を順守し充足しています。施設への聞き取りによると、今後専門職を増やし手厚い介護を実施したいとのことでした。

減災防災の意識高揚策の理想像は、常に町民の皆様に防災意識や危機意識をもって自らの命を守ることであり、不断の努力を継続します。

自主防災組織の強化と訓練は、

お通者度向上への改善策、高齢者の健康増進計画は、

団塊世代が国民健康保険に加入した際の対応は、

公助、共助、自助の連携は、

自主防災リーダーの育成と訓練の実効性は「訓練に勝る防災はなし」であり、27年度以降も創意工夫した訓練シナリオを自主防災組織に提供します。

お通者度向上への改善策、高齢者の健康増進計画は、

団塊世代が国民健康保険に加入した際の対応は、

公助、共助、自助の連携は、

自主防災リーダーの育成と訓練の実効性は「訓練に勝る防災はなし」であり、27年度以降も創意工夫した訓練シナリオを自主防災組織に提供します。

**A** 健康増進課長

「お通者度向上プロジェクト事業」として、おやま健康マイレージ、お通者測定会・高齢者通

**A** 住民福祉課長

国民健康保険の財政安定化については、平成30年度に国民健康保険の都道府県化が進められてい

**A** 危機管理監

大規模災害時の発災直後は、自助と共助、近隣の住民による近助で地域を守り、町を守るボトムアップ防災に変えていくことが重要です。

**A** 危機管理監

自主防災組織の強化と訓練は、



▲地区ごとに開催された「けんこう集会」(健康増進講座)



渡辺 悦郎  
(新生会)

**Q** 「お達者度向上プロジェクト」の今後は

**A** 4つの重点事業を推進します

平成24年度に厚生労働省は、平成22年度の数値を基にこれまでの平均寿命と日常生活に制限のない健康寿命を発表した。県は、独自の調査項目を使って「お達者度」として公表した。平成25年度に公表された平成22年度の数値を使った小山町の順位は男性30位、女性は最下位の35位。平成26年度に公表された平成23年度の数値でも男性は最下位の35位、女性も34位であった。

この結果を踏まえ、町は取り組みのひとつ「地区別けんこう集会」を開催し、浜松医科大学の尾島教授や県の健康増進課長にも助言を頂いたと聞いている。また、住民・関係団体と協働した取り組みがされていると聞いている。

**Q** お達者度向上のために今までに対応した事項、その成果、今後の取り組みとお達者度向上に資する計画はあるか。

**A** 健康増進課長

平成26年度からの取り組みとして「お達者度向上プロジェクト」を立ち上げ、死亡と国保医療費の統計資料や特定健診の地区別結果、及び要介護認定状況や介護サービス状況などによる要因分析を実施しました。その結果、町の健康課題は、脳血管疾患や心疾患、骨折や関節疾患が多く、これらの病気が原因で要介護状態等になることで、お達者度も低くなっていることから、高血圧と肥満の改善が重要であることも明らかになりました。これらをまとめ、2月

3日から5日までの3日間、町内3カ所で地区別けんこう集会を開催し、町民の皆様様に説明させていただきました。町では、「お達者度向上プロジェクト事業」として、お達者測定会と高齢者運動教室、おやま健康マイレージ、特定健診・がん検診受診率アップキャンペーン、出張けんこう教室の4つの重点事業に取り組みました。お達者度は高齢者だけの問題ではなく、若い世代から



▲けんこう教室も各地で(健康増進課)

の健康づくりの結果でもあります。今後は、今回明らかになった町や地区毎の健康課題について、地域の皆様や関係団体の方々にもご協力をいただき、啓発活動等に取り組みしていきます。そして、同世代が後期高齢者となる2025年を目指して、4つの重点事業をさらに積極的に推進し、保健、医療、介護の各分野の連携を密にして、お達者度の向上を図っていきます。



桜井 光一  
(新生会)



▲「あいさつ通り」として期待される北郷小学校前

**Q** 日本「あいさつ」のできる町を目指して

**A** 「あいさつ運動」を推進します

**Q** 北郷地区では区長会を中心に市民の親睦や、安心安全な地域を目指し、園や学校近くの道路を「あいさつ通り」なる通りの設置に動いている。通りを往来する時は挨拶を意図しお互いに交わすよう心掛けるように通りの命名や標語の募集で気運を盛り上げている。この取り組みに

**A** 町長

北郷地区での「あいさつ通り」に関する取り組みは、明るい地域づくりを進める上で、大切な事だと思えます。足柄地区では早くから同様な取り組みが行われ、現在各小学校区の地域推進協議会が開催するサロンでは「あいさつ」の重要性が認識され

対する町の考えと他地区へ拡大させていく事について何う。  
さらには、町で「あいさつ都市宣言」をして、町の入口や役場本所、各支所に看板等を設置する事で、安心安全で気持ちの良い元気な町をPRする事ができないか何う。

北郷地区での「あいさつ通り」に関する取り組みは、明るい地域づくりを進める上で、大切な事だと思えます。足柄地区では早くから同様な取り組みが行われ、現在各小学校区の地域推進協議会が開催するサロンでは「あいさつ」の重要性が認識され

**Q** スポーツ選手とともに町の更なるPRを

**A** 実現に向けて関係者と協議していきます

**Q** 現在、町では大相撲力士大砂嵐

し、応援ツアーや激励会が行われ、活躍が期待される。鈴木選手を町に招待し野球教室等で青少年健全育成に役立ててはどうか？また、有名スポーツ選手との関わりを今後どのように生かしていくか何う。

健全育成に役立てることは、有意義なものと考えますので、鈴木大地選手後援会とも相談しながら指定管理者やNPO法人小山町体育協会と協議して、その実現について検討していきます。

金栗部岡やプロ野球千葉ロッテマリーンズのキャプテン鈴木大地選手など有名なスポーツ選手との関わりが大きい。大砂嵐関については今年の1月から小山町観光親善大使に就任された。

健全育成に役立てることは、有意義なものと考えますので、鈴木大地選手後援会とも相談しながら指定管理者やNPO法人小山町体育協会と協議して、その実現について検討していきます。

は、プロ野球界で既に活躍されており、今後、観光PR等に協力していただくことが可能であれば、町をより多くの方に知っていただくことができますので、関係者とも協議していきます。

鈴木選手は昨年2月に有志による後援会が発足

**A** 教育長  
野球教室等で青少年の

**A** 商工観光課長  
プロ野球千葉ロッテマリーンズの鈴木大地選手

## 小中一貫教育の取り組みを視察

議員研修報告

2月2日に全議員による視察研修を実施した。

◎沼津市立静浦小中一貫教育の取り組み

沼津市静浦地区の課題は、少子化に伴う複式学級の恐れと地震による静浦中裏山崩落の危険性であった。それらについて地域住民等との議論の結果、平成28年4月施設一

体型静浦小中一貫学校が開校した。9年間をひとつの区切りとし、1〜4年を「初志部」、5〜7年を「立志部」、8・9年を「大志部」としている。全学年シラバス（小中一貫学校の指針）による学習指導を推進し、学習意欲や学力向上へ取り組んでいる。校舎の特徴は、地震・津波など災害への備えが

万全な4階建の強固なコンクリート造、屋上には千人の避難スペースや防災倉庫、屋外階段などが設置され、地域の防災拠点にもなっていた。また、学校図書館の充実にも驚かされた。

まさに、地域・自然・環境に配慮した学校である。子ども達も自他の生命を大切にする力を育んでいくことと恐れ、人口減少が進む小山町でもこれら取り組みを参考にしていくなか、必要性を感じた。

このほか、西浦の県営林を視察し、間伐の状況・今後の返還などについて研修をした。

（記 池谷 洋子）



屋上には太陽光発電も設置

## 私の望み

No.15

## 芸術とスポーツの町に

湯山 水彩 (明倫小6年)



「オーケストラの迫力はすごいなあ。」町の芸術鑑賞会で、昨年度はオーケストラの演奏をききました。CDとはちがって、本物の楽器の音は迫力があって想像した以上に素晴らしいかったです。4年生の時は「おさな星のうただね」とうげきを観ました。現実には絶対にならないような世界の話に引き込まれるほど楽しいげきでした。私は、毎年行われる芸術鑑

賞会をとても楽しみにしています。しかし、方で、毎年黒からいたたいしている「しずおかミュージアムバスポート」は使ったことがありません。私は絵を描くことが好きなので、有名な絵を観てみたいと思っています。ですが、近くに美術館がないので、なかなか観に行けません。小山町に美術館を造るか、町の文化会館などに「移動美術館」として展示してもらえたいと思います。

らうれしいです。また、私はミニバスをやっているのですが、以前生涯学習フェスティバルで見た「フリースタイルバスケット」が心に残っています。ぜひもう一度見たいと思います。小山町は自然が豊かなきれいな町です。町の人々が気軽に芸術やスポーツにふれ合う場所や機会が増えれば、もっともっとすてきな小山町になると思います。

## 議会を傍聴してみませんか

●本会議及び全員協議会は、会議の当日、役場4階議場傍聴席入口で、住所、氏名、年齢、職業を書いたから傍聴してください。定員は29人です。

●常任委員会は、委員会の当日、開始30分前から15分前までに、役場4階会議室入口で、住所、氏名等を書いて受付をしてから傍聴していただけます。定員は6人です。定員を超えるときは、抽選により決定します。

## 会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、御覧ください。

議会だよりは、町のホームページにも掲載していますので、御覧ください。

<http://www.fiji-oyama.jp>

## 編集後記

議会広報対策特別委員は、県や駿東郡での各種研修会で議会だよりを町民の皆さんに分かり易く、興味をもって読んで頂けるよう研鑽に励んできました。この2年間広報おやまと違った目線でポイントを絞りながら小山町議会の活動内容を理解していただけるように、紙面づくり時には広報委員相互で意見を出し合い作成して参りました。特に、この3月議会は今後の小山町の方向性を示していく重要な予算を審議した議会ですので、町民の皆様方に議会活動内容を理解して頂けたら幸いです。このメンバーでの任期は、ここで終了となりますが、更に分かり易く、親しみのある紙面を作っていくたいと思います。最後に、いつも読んで頂きありがとうございます。

（記 池谷 弘）

## 編集委員

委員長 米山千晴  
副委員長 池谷 弘  
委員 高畑博行  
委員 桜井光一  
委員 池谷洋子

